**第３５回登別市市民自治推進委員会　育み部会議事録**

（敬称略）

|  |  |
| --- | --- |
| 開催日時 | 平成３１年　２月２０日（水）１７時３０分～ |
| 開催場所 | 登別市役所本庁舎　２階　第１委員会室 |
| 出席者 | （部会長）　安宅錦也（副部会長）川村正勝（部会員）　仲川弘誓、合田美津子、佐藤文子、神谷博達（庁内委員）橋場　太、安部直也、綿貫亨（事務局）　笠井康之　笹田恭平 |
| 欠席者 | 磯田大治（部会員） |
| 議題 | 登別市立図書館の在り方について |
| 配布資料 | 平成３１年度登別市立図書館　重点施策 |

１．会議の要点

 スマートフォンや電子書籍等の普及によって本来、調べものや本を借りるために使われてきた図書館利用者が年々減少していることから、育み部会として図書館活性化のためにはどのような取り組みをすればよいか図書館の重点施策の資料を使用し、図書館長を交えて協議した。

（１）重点施策について

○施設・設備について

・西いぶり広域図書館情報システムの更新と図書館PC及びアーニス分館利用者用PCの更新を行う。（１２月末予定）

・図書館３階防火設備整備（老朽化した図書館の防火設備の整備を行う。７月予定）

・幌別西小学校の書庫閉鎖に伴い片倉町の教職員住宅に蔵書を移管する。

・アーニス分館に郷土資料コーナーを開設する。

○2020年度からの職員体制（会計年度任用職員移行に備えて）

・嘱託職員・臨時職員について2020年4月からの会計年度任用職員採用の実現をめざす。

○市民参加型図書館への成長を図る

・市民活動サポーター（ボランティア）組織を立ち上げる（６月予定）

　（説明会を４月・５月に開催する）

○資料

・書架の飽和状態の解消のため資料の除籍を進める。

・書架の整理、除籍、除架をすすめ、利用者がわかりやすい環境をつくる。

・除籍資料の有効活用を図る。

・郷土資料のデジタル化について、公益財団法人図書館進行財団による提案型助成事業「郷土資料・貴重資料等のデジタル化および公開事業」の採択を目指す。

・郷土資料の整理を引き続き行う。　　　　　　　　　　　　　　　（裏面へ）

・寄贈資料に登録の迅速化と書誌の質向上を目指す。

・延滞者や長期未納返却者への督促の推進と不明本の処理を行う。

○サービス

・障がい者向け郵送制度の要綱を作成し、サービスを本格的に開始する。

○事業・展示

・ライブラリースタート事業の配布率の向上に努める。

・情報リテラシーサービス・利用教育のため、引き続き図書館活用講座を実施する。

・郷土に関する講座を引き続き開催し、市民が郷土について学ぶ機会を提供する。

（２）図書館の課題

・図書館にいる職員（嘱託・臨時）が頻繁に入れ替わるので、新しい人が入

る度に教える作業に時間を取られている。

　・今後、障がい者に対するサービスをもっと考えてなければならない。

２．まとめ

　さまざまな事業を行い、図書館を利用してもらうきっかけ作りをしていかなければならない。

本の貸出冊数を増やすのではなく、利用者が増え、一人ひとりが満足できる図書館にしていくために、「市民が求めている図書館」、「市民の約に立つ図書館」がどのようなものなのかを把握する必要があるため、育み部会として、市民のニーズにあった図書館づくりを目指す取組に対して、今後協力していく。

３．次回について

　日時：平成３１年３月２５日（月）１７時３０分～

場所：第１委員会室

（以上）